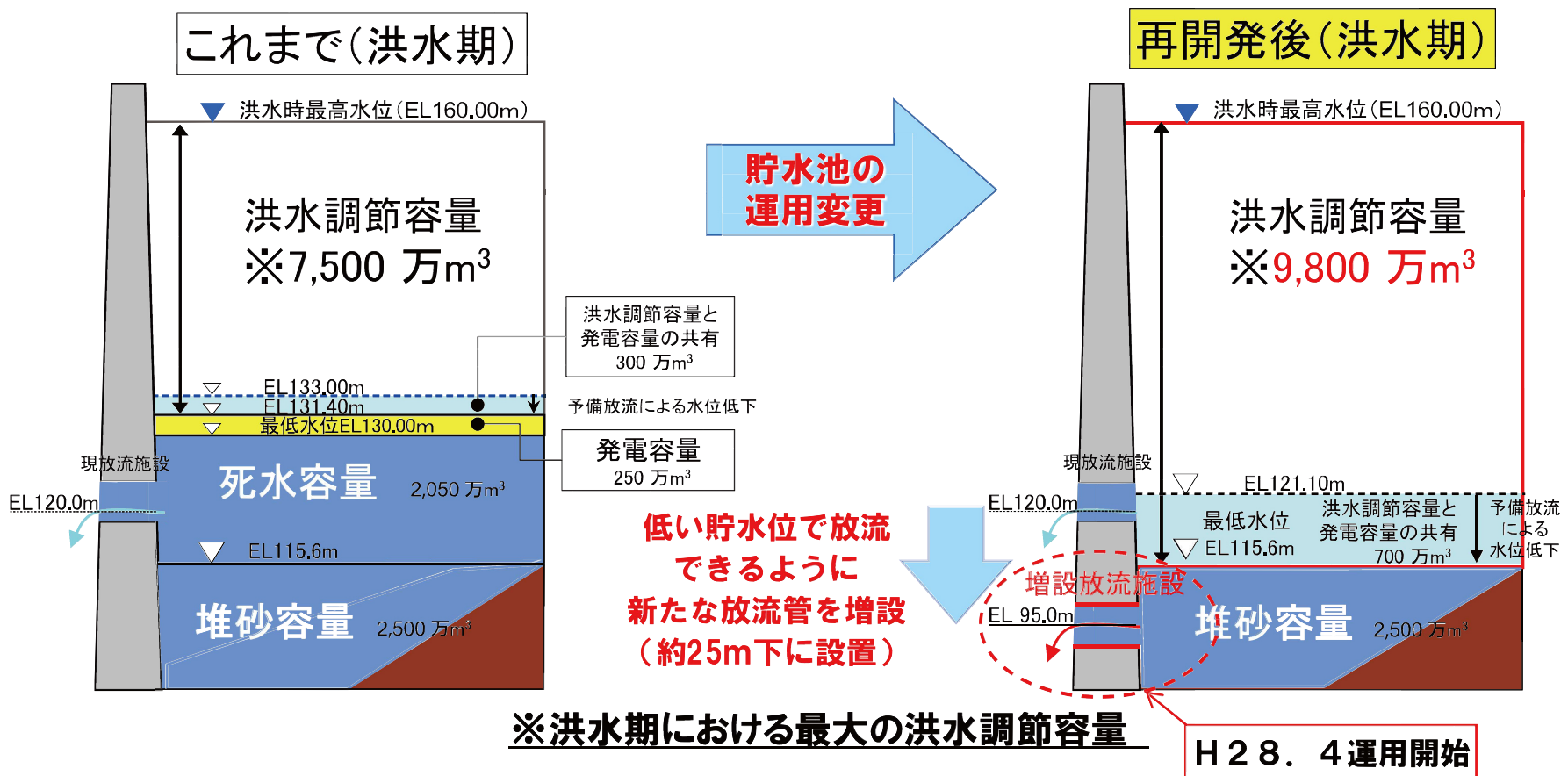


## 再開発事業の目的と効果

### 再開発事業の目的

平成18年7月、川内川流域は記録的な豪雨によりこれまでにない大きな洪水被害を受けました。鶴田ダム再開発事業は、洪水期において洪水による被害を軽減するため、鶴田ダムの**洪水調節容量(ダムに貯める水の量)**を最大7,500万 $m^3$ から**最大9,800万 $m^3$ (約1.3倍)**に増量するとともに、**放流設備の増設を行い、洪水調節機能を強化するための事業**です。

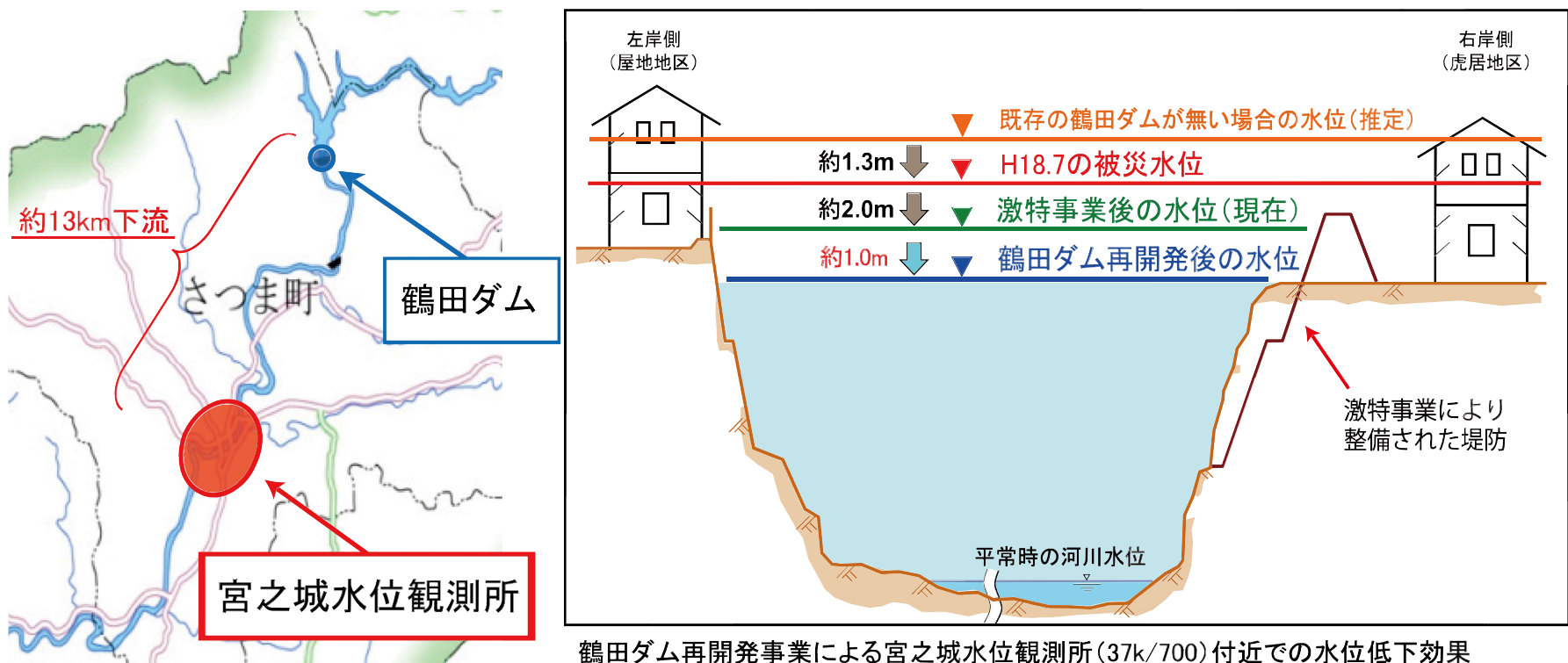


※洪水期における最大の洪水調節容量

H28.4運用開始

### 再開発事業の効果

現在の川内川に平成18年7月規模の洪水が発生した場合、甚大な被害を被った宮之城地区において鶴田ダム再開発事業により、激特事業(平成18年~23年度)後の水位から、さらに約1.0m水位を低下させます。



鶴田ダム再開発事業による宮之城水位観測所(37k/700)付近での水位低下効果